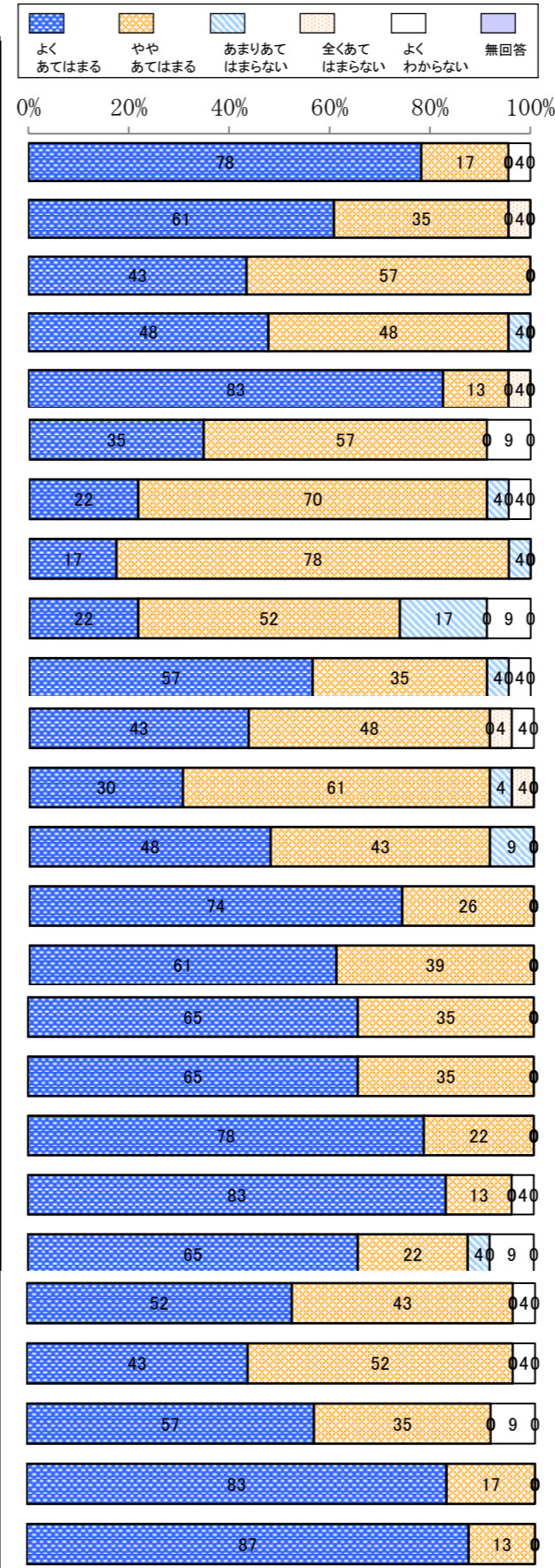


		アンケートの結果		上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員				
		A	B	C	D	よく分らない	無答	
学校全体の様子	1 教育目標・方針	76	20	2	1	1	0	
	2 児童・生徒の様子	72	23	3	1	1	0	
	3 基本的な生活習慣	63	34	2	1	1	0	
	4 児童・生徒理解	50	37	8	1	4	0	
	5 健康・安全・安心	70	25	4	1	1	0	
学力向上の取組	6 分かる授業	48	43	5	2	2	0	
	7 個に応じた指導	57	34	5	1	2	0	
	8 学習習慣	38	32	22	6	2	0	
	9 情報教育	62	27	9	0	2	0	
	10 学校図書館の活用	39	33	18	7	2	0	
社会性・人間性の育成	11 人権教育	64	30	3	1	2	0	
	12 道徳教育	44	38	12	1	5	0	
	13 教育相談	43	31	13	7	6	0	
	14 人間関係づくり	80	16	2	1	1	0	
	15 自主的な活動	67	28	4	0	2	0	
保護者・地域との連携	16 情報発信	63	22	2	1	11	0	
	17 相談への対応	57	28	5	2	9	0	
	18 学校への参加	67	25	6	1	2	0	
	19 地域との連携	57	26	14	3	0	0	
	20 意見の反映	62	29	4	0	5	0	
各学校の特色ある教育	21 基礎・基本の徹底	62	27	7	1	3	0	
	22 授業評価の活用	53	36	5	1	6	0	
	23 進路指導の充実	48	36	9	2	6	0	
	24 地域学習	64	26	7	1	2	0	
	25 JRC活動	59	28	10	1	2	0	

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価 (考察)

教育目標「たくましい人」が確実に定着している。教育活動のあらゆる場面で意識的に取り組み、さらに実感できる教育活動を進めていきたい。

生徒の肯定感高く、健全な学校生活を送れていると思われる。しかし、ごく少数の否定的な生徒を見逃すことなく、指導・支援を続けたい。

校内の規律はほぼ目標を達成できている。積極的な挨拶、ふさわしい服装、時間を守る等のルールを生徒同士が注意し合う環境も整いつつある。

生徒を励まし支援していることが評価されているが、生徒・保護者共に約10%が不十分と感じている。全生徒に目を配り、さらなる生徒理解に努めたい。

毎月の避難訓練・安全指導に加え、レスキュー部の活動も成果をあげていると考えられる。生徒の意識も大変高い。さらなる向上を目指したい。

肯定的意見が多いが保護者の「わからない」の回答が20%近くある。授業公開を工夫するなどしたが、授業の様子を知ってもらう等、さらに改善を要す。

一定の成果をあげてはいるが、評価結果を分析し、個に応じたきめ細かい指導やクラス分けの工夫等、効果的な方法を具体化していく必要がある。

自習教室の運営方法の工夫や学校としての家庭学習課題の明確化や学習習慣の定着化など、具体的な改善を必要とする。家庭と協力し推進していく。

電子黒板の活用はかなり定着している。タブレットPCも新しいものが導入された。積極的に活用して使い慣れるとともに、成果の上がる使い方を模索したい。

生徒の肯定的な回答が多い。学校生活の様々な場面で学校図書館の活用は浸透している。授業における調べ学習等での利用の機会を増やしていきたい。

今後も教育活動全般において人権感覚を育てていくとともに、いじめ等の早期発見やそれに対処するシステムを強固にしていく。

教育活動全体で道徳性の向上を図り、また、学校公開日に全学年道徳授業を公開、その後協議会を実施するなど道徳教育を推進している成果である。

肯定的な評価の割合が高いが、否定的な少数意見を見落としてはならないと考える。生徒からの相談を待つのではなく、不安を抱える生徒の発見に努めたい。

行事等を通し、充実した体験活動が定着してきている。今後もさらに内容を充実させて、全生徒が所属感をもてるような教育活動を推進する。

生徒会活動を中心とした自治活動が定着している。ほとんどの生徒が学校生活の中に自分の役割を見つけ、所属感・成就感をもっているようである。

情報発信は高い評価を得ている。今後も学校便り、学年便りの発行、学校ホームページの更新、情報配信システムの有効活用等を進めていきたい。

生徒や保護者からの相談に丁寧に対応している。今後も個や家庭に応じた相談に力を入れ生徒や保護者に適切に対応していきたい。

運動会や霜月祭等への保護者の参加は大変多い。土曜日授業公開、学校公開週間、保護者会等を魅力的なものにし、より参加しやすい設定を工夫したい。

レスキュー部員を中心としたボランティア等の参加は定着した。一般生徒の参加者が多くなるよう、積極的に促し、より充実させていきたい。

肯定的な意見が多い反面、意見・要望をいただくこともある。さらにきめ細やかな対応をし、保護者に理解される充実した教育活動を展開していきたい。

全体としては学習コンテストなどの取り組みが一定の評価を得ているが、個々の生徒を見ると定着が不十分な生徒も多い。指導法の工夫・改善に努めたい。

授業評価が授業改善に反映されていると感じている意見が多いが、保護者の「わからない」の回答が27%であった。保護者にも分かるように工夫をしたい。

各学年のキャリア教育が定着している。進路指導に偏ることなく、3年間の計画的・継続的な進路指導を実践し、さらに充実させたい。

地域学習が定着し、学年が上がるほど地域に対する意識も高い。3年間を見通した計画も確立しており、今後も推進していきたい。

レスキュー部の活動やボランティア活動等も充実し、JRC活動に対する意識が高くなった。今後も形骸化することなく活動を推進・発展していきたい。